**外部資金記載例・注釈（赤字）**

外部資金活用申請に伴う実施計画書への追加記載例

○以下の青字の記載例を参考に、記載してください。

○本記載内容は、外部資金による研究開発が終了するまで、実施計画書に記載を継続してください。

追記する項目

# 7．資金計画

## （2）委託研究開発費

④　大学等ごとの費目別の研究開発費

→　雇用研究員等が所属する研究機関毎に追記が必要です。（ページ　参照）

# 8．研究開発計画

## （○）研究開発課題○

⑥　参加者リストB

→　当該課題の参加者リストBの表と【補足事項】に追記が必要です。（ページ　参照）

**④　大学等ごとの費目別の研究開発費**

**（幹事機関：○○大学）**

［単位：千円］

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 費目　　　　　年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 合計 |
| Ⅰ物品費（設備備品費） | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 00,000 | 000,000 |
| Ⅰ物品費（消耗品費） |  |  |  |  |  |  |
| Ⅱ人件費・謝金 |  |  |  |  |  |  |
| Ⅲ旅費 |  |  |  |  |  |  |
| Ⅳその他 |  |  |  |  |  |  |
| 直接経費計（Ⅰ～Ⅳの合計） |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費計　（30%） |  |  |  |  |  |  |
| 合計（a） | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 000,000 | 0,000,000 |

※　間接経費率は30%を上限としてください。間接経費率は、原則各年度内では同一とします。30%未満の場合は、当該記載を変更してください。

※　当該事業年度及び翌年度の金額は、契約書に反映します。

○各費目の主な内訳（名称・件名、概算価格、執行・調達予定時期)

※　上記予算の主な内訳を記載してください。

Ⅰ物品費（設備備品費）

Ⅰ物品費（消耗品費）

Ⅱ人件費・謝金

※　本申請により、当該年度及び翌年度において、OPERA雇用研究者等が外部資金による研究開発を行う場合は、引き続き雇用経費ついて記載してください。

（平成28年度）

【外部資金による研究開発を行う雇用研究者等】

・OPERAプロジェクト研究開発範囲内のエフォート率　100％：2名　12,000千円

・OPERAプロジェクト研究開発範囲内のエフォート率　○％：○名　○千円

（平成29年度）

【外部資金による研究開発を行う雇用研究員等】

・OPERAプロジェクト研究開発範囲内のエフォート率　100％：2名　12,000千円

・OPERAプロジェクト研究開発範囲内のエフォート率　○％：○名　○千円

Ⅲ旅費

Ⅳその他

○担当する個別研究開発課題　※課題番号と課題名称を記載してください。

課題番号○　●●の☆☆

# 8．研究開発計画

※　研究開発課題について、具体的な研究開発内容を記載してください。

※　実施期間中の変更は可能です。

## 研究開発テーマ1：○○○

## （1）研究開発課題1

**⑥　参加者リストB（平成○年度）**

※　研究開発に参加する研究者について記載してください。ポスドク、学生等未定の場合は、想定人数を記載してください。

※　当該事業年度の参加者としてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **区分** | **機関名** |
| **氏名** | **部署　役職** | **プロジェクトでの役割** | **エフォート※** |
| **大学等** | **○○大学** |
| 氏氏　名名 | ○○研究科　教授 | 研究開発課題1代表者 | ○％ |
| ○○　○○ | ○○センター　准教授 | 【クロスアポイントメント等】 | ○％ |
| 科学　真子 | ○○センター　特任助教 | 【外部資金研究有】 | 50％ |
| ポスドク | 2名予定（○月頃） | 【民間資金】 |  |
| 学生 | 博士課程　1名予定（○月頃） | 【民間資金】 |  |
| **大学等** | **○○研究所** |
| 氏氏　名名 | ○○部門　研究員 | 研究開発責任者 | ○％ |
| **民間企業** | **株式会社AA** |
|  | ○○研究所　所長 | 企業責任者 | ○％ |
|  |  |  |  |
| **民間企業** | **株式会社BB** |
|  |  | 企業責任者 | ○％ |

※　「エフォート」は、当該研究者の「全仕事時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合」となります。なお、この「全仕事時間」には、研究活動にかかる時間のみならず、教育活動や管理業務等にかかる時間が含まれます。

※　【民間資金】による雇用者は、「プロジェクトでの役割」欄に、【民間資金】と、記載してください。

※　クロスアポイントメント制度等を用いた参加者は、「プロジェクトでの役割」欄に、【クロスアポイントメント等】と、記載してください。

※　別途申請により、当該年度において、OPERA雇用研究員等が外部資金による研究開発を行う場合は、「プロジェクトでの役割」欄に、【外部資金研究有】と、記載してください。

**【補足事項】**

**○クロスアポイントメント制度等を用いた参加者**

※　クロスアポイントメント制度等を用いて幹事機関または大学等に所属して研究する場合には、該当者の氏名・本リスト以外の所属機関名・部署・役職を記載してください。

氏氏　名名　○○法人□□□研究所　□□部門　役職

**○外部資金による研究開発を行う雇用研究員等**

※　別途申請により、OPERA雇用研究員等が外部資金による研究開発を行う場合は記載してください。

※　変更申請書の内容と相違がないように記載ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **氏名** | **プロジェクトの研究開発範囲のエフォート** | **合計※2** |
| **OPERA委託研究開発費エフォート※1** | **外部資金の情報** |
| **事業名** | **実施期間** | **エフォート** |
| 1 | 科学　真子 | 50％ | ○○ | 2016.4.1～2018.3.31 | 50％ | 100％ |
| 2 | ○○　○○ | 50％ | ○○ | 2016.4.1～2018.3.31 | 50％ | 100％ |

※　必要に応じて行を追加してください

※1　参加者一覧記載のエフォートと同一内容を記載してください

※2　参加者一覧記載のエフォートと外部資金のエフォートの合計となります